

報道各位

新潟市保健所食の安全推進課

食中毒の発生について

1. 概要

令和6年5月15日(水)午後10時頃、市内の医療機関から「野草が原因と思われる食中毒の症状を呈している患者2名を診察した」旨の連絡が新潟市保健所にあった。患者は、5月15日(水)午後5時頃、知人からミツバ等の野草を貰い受け、同日の夕食として卵とじに調理し喫食した。食事中、強い苦みを感じたがそのまま食事を続けたところ、直後に喉と舌のしびれ、めまい等の症状が見られたため、救急車を要請し市内の医療機関に搬送された。

調査の結果、残品の野草の一部がキツネノボタンであると鑑別されたこと、医師から食中毒患者の届出があったこと、潜伏期間および中毒症状がキツネノボタンによるものと一致したことから、新潟市保健所はキツネノボタンを原因とする食中毒(家庭内)であると断定した。

なお、入院した患者の症状はすでに改善し、翌日退院した。

2. 患者の性別・年代別人数

2名(年齢・性別は患者らの希望により非公表)

3. 患者らの症状、受診・入院の状況

症状…喉と舌のしびれ、めまい

受診…2名(うち入院2名)

4. 原因食品

キツネノボタン(ミツバと誤食)

5. 食中毒発生状況

	令和6年1月1日～5月17日 現在※		昨年同時期	
	県内	市内	県内	市内
発生件数	12件	5件	6件	0件
患者数	155名	49名	254名	0名

※県内及び市内とも本事件を含む

【お問い合わせ先】 食の安全推進課 担当:榎本 TEL:025-212-8000

※本件に関するお問い合わせは午後4時00分までお願いいたします。

キツネノボタンについて

【概要】

キツネノボタンは、プロトアネモニンを含むキンポウゲ科の有毒植物。プロトアネモニンは皮膚や粘膜に対して刺激性が強いことで知られています。食べると口腔内刺激による痛み、腹痛、下痢、吐血等の症状が生じることがあります。

キツネノボタン(表)



特徴1: 葉同士が離れている

キツネノボタン(裏)



特徴2: 葉の裏や茎に毛が生えている
※この写真ではわかりにくい

キツネノボタン(左)とミツバ(右)



キツネノボタンは
葉同士が離れているのに対し、
ミツバはくっついている

【お伝えしたいこと】

本事例では、採取したミツバの中に、一部、キツネノボタンが紛れ込んでいたことにより、食中毒が発生したと考えられます。食用の野草と確実に判断できない植物は

採らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！